

平成28年度決算状況

詳 財政課 ㊟ (32)6212

平成28年度決算の結果は、財政健全化法に基づく4指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。また、資金不足比率においても、全ての会計で経営健全化基準を下回りました。

今後も、さらなる財政健全化に努めていきます。
各会計の決算概要をお知らせします。

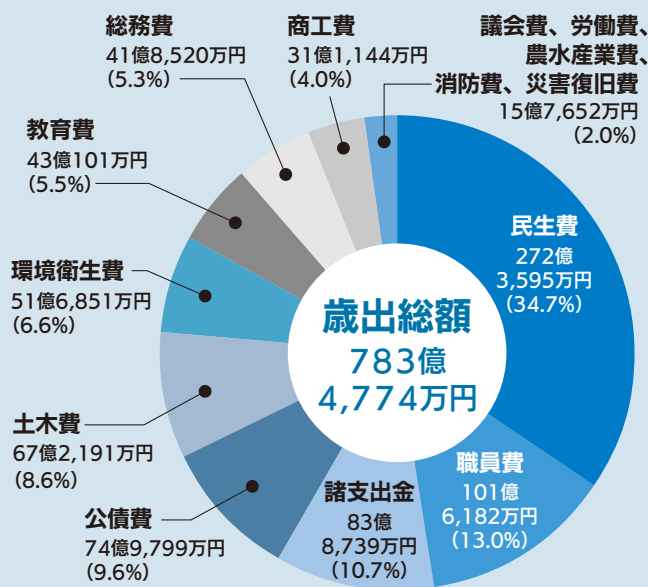
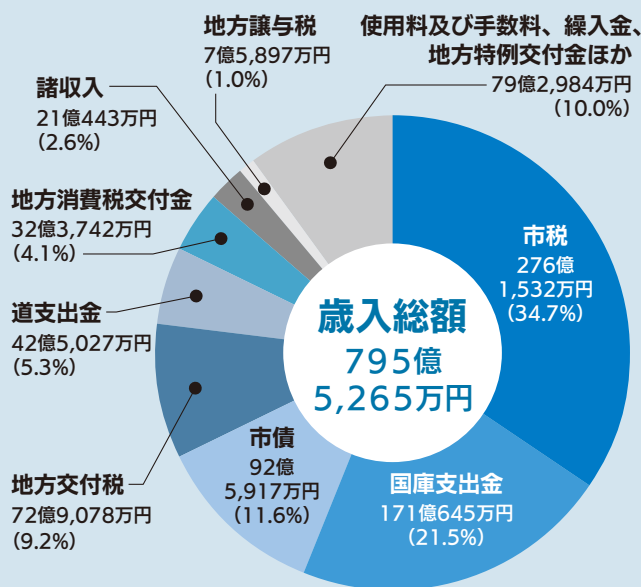
一般会計の決算状況

一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は795億5,265万円で、前年度に比べ15億834万円（1.9%）減少しました。歳出（年度中の支出）の総額は783億4,774万円で、前年度に比べ12億5,931万円（1.6%）減少し、差引額12億491万円の黒字になりました。

これは、歳入のうち市債や諸収入などが減少したものの、市税が3億5,091万円（1.3%）増となったことや、国庫支出金が12億1,105万円（7.6%）増となったことによります。

歳出のうち、主要事業費は総額207億9,116万円で、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、旧道立病院の改修や学校改修事業、立地企業サポート事業などを行いました。また、毎年度経常的にかかる経費については、扶助費が増加しました。



市民1人当たりの決算額

■市税負担額 **159,995円** (2,677円増加)

■使われた経費 **453,924円** (5,415円減少)

主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に] 121,667円 (1,444円増加)
- 人件費 [職員の給与などに] 53,386円 (1,643円減少)
- 公債費 [借入金の返済に] 43,441円 (3,055円増加)
- 投資的経費 [施設建設などに] 71,044円 (9,540円増加)

※金額は、一般会計の決算額を平成29年3月31日現在の人口172,601人で割ったもの。()は対前年比